

KADERU



[弘前公園]
撮影 狩野 利夫

Contents

- 新年度を迎えて 片山 容一
- 脳神経内科医が語る医学雑学 第5回
しゃっくりの止め方 布村 仁一
- 総合診療科よらず医療断 第5回
抗がん剤治療と支持医療(サポータティブケア) その2 佐々木 洸太
- 部署紹介 高度治療病棟(HCU)
- TOPICS

もしかして **脳卒中?!** ～こんな症状があれば様子見ではなく、すぐに119番へ!～

Face (フェイス)

顔の歪みや
顔の麻痺

Arm (アーム)

腕や足に
力が入らない

Speech (スピーチ)

言葉が出ない
ろれつが回らない

Time (タイム)

症状に気付いたら
至急119番!

Time is Brain (時は脳なり) …脳梗塞の治療では発症より血行再開までの時間短縮が重要です!!



新年度を迎えて



新年度、当院は開設から7年目に入ります。年を追うごとに、診療の内容が充実してきました。地域の皆さんの温かいご支援と、職員の皆さんのたゆまぬ研鑽のおかげです。深く御礼申し上げます。

新年度に入って、新しく入職された皆さんを迎えることができました。心から皆さんを歓迎しています。いっしょに仕事をするのを心待ちにしております。皆さんが元気いっぱい楽しく仕事ができるように願っています。

当院は、地域の皆さんにとって「役に立つ病院」であり「信頼できる病院」であるだけでなく、「安心できる病院」でもありたいという目標を掲げ、いろいろな努力と工夫を重ねてきました。少しづつですが、この目標の達成に向かって歩みを進めています。

地域の皆さんにとって「安心できる病院」になるためには、一つ不可欠なことがあります。それは、職員の皆さんにとって働きやすい病院でなければならないということです。

働きやすい環境は、仕事の効率を良くするだけでなく、より多くの優れた人材を集めることにもつながります。それでこそ、心に余裕を持ち、きめ細かな心配りができるようになります。それが「安心できる病院」の土台です。

そのためには、いろいろな職種の方々がチームとして働いていることを意識して、お互いの仕事に敬意を持ち、お互いが働きやすいように配慮する努力をしなければなりません。

チームとしての医療は、目的と情報の共有から始まりますが、それと同時に、チームの仲間への思いやりが欠けては、すべてが成り立たなくなってしまいます。

新年度は、今まで以上に、チームとしての医療に注意を払っていきたく考えています。それによって、地域の皆さんが「安心できる病院」だと思ってくださるよう願っています。ご協力をくださいますようよろしくお願い致します。

総長 片山 容一



連載

脳神経内科医が語る医学雑学 (全12回)

脳神経内科 部長
布村 仁一 先生



第5回 シャククリの止め方

皆さんこんにちは。青森新都市病院 脳神経内科の布村です。たぶん皆さんの中で「シャククリ」をしたことがない、という人はいないだろうと思います。なかなか止まらず苦しい思いをする事も少なくありません。さて、それではみなさんは「シャククリ」ってどんな現象か説明できますか？昔から横隔膜のけいれんである、と言われていましたが本当でしょうか？実は「シャククリ」には生理学的な定義があります。声帯閉鎖を伴う強い吸気運動を「シャククリ」と呼びます。この運動は常に同じパターンで発生し、不随意におきます。先天的に備わっており練習しなくとも誰にでもおきます。難しく言うと「シャククリ」は咳やくしゃみと同様な呼吸器系の反射運動の一つです。では「シャククリ」は何のために存在するのでしょうか？咳は咽頭異物等からの防御のためにおこります。くしゃみは鼻腔異物等からの防御のためにおこります。それではシャククリは？実はまだ確定的なことはわかっていません。ですが、おもしろい説があるので紹介します。

我々ヒトはもともと水中で生活していた生物が進化し陸に上がりました。その際水中では鰓呼吸をしていたものが肺呼吸に変わりました。カエルは幼体（オタ

マジャクシ）のときは鰓呼吸でカエルになると肺呼吸になりますが、実はオタマジャクシの時も肺呼吸の運動をしている事がわかりました。水中で肺呼吸をすれば溺れてしまいますが、それを防ぐために「シャククリ」と同じ運動パターンが存在するというのです。ヒトも母親の胎内ではオタマジャクシと同じ変化をしていると考えられシャククリが残ったのだろうという推測です。面白いですね。さて、「シャククリ」の治療ですが、通常は一過性で終わるので治療は不要ですが中には難治な例もあります。昔からわが国では柿の蒂がいいとか、漢方治療が行われてきており、その他咽頭壁をつつくとよいとか、制吐剤が効くのだとか、てんかんの薬が有効など報告されてきていますが、どれも決定打にはなっていません。昔直腸のマッサージが効果的と

いう論文もあり、興味深く読みましたが、実践はしていません。先ほどのオタマジャクシの話の続きになりますが、ヒトは生まれてしまうとシャククリ運動は不要になるため基本的には抑制されてしまいます。それに GABA という物質が関係すると言われてます。最近 GABA の受容体に働く物質が「シャククリ」に有効だろうと考えられ、使われるようになってきています。もし止まらないシャククリを経験したら一度当科にご相談ください。



部署紹介 高度治療病棟 (HCU)

看護師長 小林 瞳 さん



こんにちは、青森新都市病院 高度治療病棟 (high care unit 以下 HCU) です。

当院のHCUは、手術後や集中治療が必要な患者さんが入室される病棟です。全身状態が安定・回復すると一般病棟へ移動となります。HCUのベッド数は、オープンスペース6床と個室2床の8床で、患者さんの状態に合わせてベッドの位置を決めます。多い日には1日に入院が約4~5件、手術後の入室は約3件あります。患者さんの一般病棟への移動は主治医が判断し、各病棟のベッド状況なども加味しコントロールしています。

重症患者さんの中には、人工呼吸器を装着されている方や、他にもたくさん機械や薬剤を使った治療を行っています。日々変化していく患者さんの状態に合わせた看護の提供を求められるため、知識や技術の習得に日々励んでいます。特にHCUでは、緊急で入院が強いられる患者さん、そのご家族と関わる機会が多いです。戸惑いや不安な気持ちに寄り添う看護を常に心掛けています。今後も患者さんが安全・安楽に治療が行えるよう努めていきたいと思っています。



総合診療科 よろず医療

第5回 抗がん剤治療と支持医療(サポータティブケア) その2



総合診療科 医長
佐々木 光太 先生

連載
(全6回)

さて、がん患者さんの多くは「がんでお別れしない(他界しない)」「栄養状態の悪化や肺炎などの感染症、心不全や腎不全などの臓器不全が問題になる」と前回お話しさせていただきました。色々なご意見やお考えはあるかと思いますが、「がん」に囚われると視野が極端に狭くなり、選択肢が非常に少なく感じ、「健康とは何か」や「生活の質」の大切さを見落としがちです。「がん治療」や「抗がん剤」が「生きる目的」、「生きる手段」になってしまい、いざ医師から「抗がん剤の継続は難しい」と言われた途端、「生きる目的や希望」を失ってしまう方もいます。大袈裟と思われるかもしれませんが、「抗がん剤治療を一旦休むこと」=「がん治療グループから追放」と感じ、「仲間外れの悲しみ」

「追放された絶望」を抱えられる方が少なくありません。また、患者さん自身はもとより家族の方は「治らない病気」「治らない状態」と説明されると、それを認めず(否認)、何かに原因を探して怒りをぶつてたくなります(怒り)。大事にしていたこと、大切にしていたことをあきらめることで病気が治らないかと科学的に根拠に乏しい治療や健康食品などに手を出すなど保険診療以外の手段に救いを求め(取引)、それでも状況が悪化すると気分が沈んだり、うつになったりします(悲嘆・抑うつ)。それら4つを経て、自分の病状や状況を受け入れる(受容)と言われてます。必ずしもはっきりとこの過程を意識できるばかりではありませんが、多くの方は5つの段階を通過してご自身の病

状を受容していくと言われてます(キューラー・ロスの死の受容)。病状や予想される将来を受容する時間は人それぞれ異なりますが、体調がすぐれない、気持ちが辛い状況では余計に時間が必要です。「気持ちの辛さに対するケア」は体調管理と同じく重要とされ、精神科医でもこのケアに必ずしも長けているわけではないのが実情です。

是非、がんの治療を受ける中に「元気がない」「眠れない」「今まで楽しめていた趣味が手につかない」などの悩みがあれば、当科までご相談ください。



TOPICS

スポーツ・関節外来のご案内



4月から 毎週水曜日
午前 9:00 ~ 12:00 診療

りゅう けいの すけ

龍 啓之助 先生

日本大学医学部
整形外科学系 整形外科学分野 准教授

【専門分野】

変形性関節症、リウマチ・関節外科、
スポーツ整形外科



膝・股関節に痛みがある方、スポーツによる障害で
お困りの方はぜひ一度ご相談下さい。

※ 龍先生の専門分野や最新の治療法は、東奥日報の連載
「関節・膝関節治療の最前線」で、3回にわたり紹介
されます(3/20、3/27、4/3掲載)。後日、当院ホーム
ページでも記事を掲載する予定です。

かでるきっず卒園式

去る3月12日、当院付設の保育施設「かでるきっず」で
卒園式が行われました。今年卒園するのは12名。入園
時は小さかった子どもたちも、すっかり頼もしいお兄さ
ん、お姉さんの顔になり、巣立ちの日を迎えました。
我が子の成長ぶりに思わず涙ぐむ父兄も。小学校に行っ
ても、お友達をたくさん作って元気に過ごしてね！



※「かでる」とは、北海道から東北の方言で
「仲間に入れる」という意味です。

医療安全研修会

先日、職員を対象とした医療安全研修会が開催されました。
市立函館病院がん薬物療法認定薬剤師・坂田幸雄先生が「市立
函館病院におけるがん薬物療法の取り組み～がん薬物療法認定
薬剤師の視点から～」と題して講演されました。①PBPM（プロ
トコールに基づく薬物治療管理）、②制吐療法、③患者サポー
ト、④連携充実加算について、市立函館病院での取り組みを具
体的例を挙げながら紹介されました。質疑応答では「マンパワ
ーが少ない病院でうまく進めるためには？」、「がん療法専門
ナースの育成について」などの質問が出ました。

新型コロナウイルスが流行して以来、外部から講師の先生を
お招きして講演会を行うのは3年ぶりの実施で、大変貴重な機会
となりました。坂田先生ありがとうございました。



当院ではマスク着用について ご協力をお願いしております



2023年3月13日からマスクの着用は個人の主体的な選択
を尊重し、個人の判断が基本となりますが、病院には高
齢者や基礎疾患を有する方など、重症化リスクの高い方
が入り出しています。当院ではできるだけマスクを着用
するようご協力をお願いしております。何卒ご理解の程
よろしくお願い申し上げます。



KADERU vol.26
英単語ナンクロの
答え

1 H 2 E 3 A 4 R 5 T

3	A	P	P	L	2	E	
4	R	2	E	3	A		
5	T	E	A	4	R		
			C	A	5	T	
5	T	E	2	E	5	1	H

編集 後記

最近、雪も溶け、春の香りがしています。
春は別れがあり、そして新しい出会いがあります。
みなさんも、新しい事へチャレンジしていきましょう。
私は、ランニングを始めようと思っています。
心も体も鍛えてさらに向上していきます。(R. I)

